



【発信日】令和5年8月3日

【問い合わせ先】

結とびあ（1階1番窓口）

教育委員会 こども支援課 山崎、宮下

電話 0779-64-5140 内線 4145

大野市が「こどもまんなか応援サポーター」を宣言

～「こどもまんなか社会」の実現を全力で推進します～

大野市は、こどもにとっての最善を第一に考える「こどもまんなか」の趣旨に賛同し、地域の宝であるこどもたちや若者を地域全体で支えるまちづくりを、大野らしい・きめ細かなアクションを通じ、市民や団体、企業の皆さんとの協働により推進していくため、「こどもまんなか応援サポーター」として活動することを宣言します。

記

1 「こどもまんなか応援サポーター」とは

こども家庭庁による取り組みの一つで、「こどもまんなか」の趣旨に共感・賛同し、「こどもまんなか社会」の実現に向けたアクションに取り組む個人、地方自治体、団体、企業を「こどもまんなか応援サポーター」と位置付けています。

サポーターはアクションを実行するとともに、そのアクションを SNS 等で広く発信することや、地域社会に広く参加を呼びかけることが求められます。

2 今後の取り組み

- ・各ライフステージに合わせた切れ目のない、きめ細かな子育て支援施策を継続します。
- ・子育て関係の取り組みを行っている企業、団体、個人に対し、「こどもまんなか応援サポーター」への参加と、SNS 等を活用したそれぞれのアクションの発信を呼びかけます。
- ・市や「こどもまんなか応援サポーター」参加企業等の取り組みを、SNS で積極的に発信します。（ハッシュタグ「#こどもまんなかやってみた」をつけた発信。）

3 添付資料

- ・大野市「こどもまんなか応援サポーター」宣言文
- ・大野市が取り組むアクションについて

大野市「こどもまんなか応援サポーター」宣言

大野市は、第六次大野市総合計画の基本目標に「未来を拓く大野っ子が健やかに育つまち」を掲げ、若者が安心して結婚・出産・子育てができ、すべてのこどもたちが夢を持って笑顔で健やかに育つまちの実現を目指し、所得制限を設けない第2子以降の保育料無料化、第3子以降の小中学校の給食費無料化、20歳までの県内学生・こどもの医療費無料化、子育て世代にやさしい企業を応援するなど、各ライフステージに合わせた切れ目のない、全国トップクラス・県内トップの子育て支援施策を実施しています。

国においては、こども家庭庁が司令塔となり、こどもたちのために何が最も良いことかを常に考え、こどもたちが健やかで幸せに成長できる「こどもまんなか社会」の実現に向けた取り組みがスタートしています。

大野市は、こどもにとっての最善を第一に考える「こどもまんなか」の趣旨に賛同し、地域の宝であるこどもたちや若者を地域全体で支えるまちづくりを、大野らしい・きめ細かなアクションを通じ、市民や団体、企業の皆さんとの協働により推進していくため、「こどもまんなか応援サポーター」として活動することを宣言します。



令和5年8月3日

大野市長 石山志保



大野市が取り組むアクションについて

【現在の主要な取り組み】

各ライフステージに合わせた切れ目のない、きめ細かな子育て支援施策を実施

全国トップクラス 県内トップ

- ・0歳から県内大学等に通学する20歳までの医療費を無償化

県内トップ

- ・所得に関係なく、第2子以降の保育料を無償化（大野市独自の取り組み）
- ・所得に関係なく、第2子以降の在宅育児に対して支援金を支給（大野市独自の取り組み）
- ・第3子以降の小中学校の給食費を無料化

県内トップクラス

- ・平日の放課後児童クラブ利用料、放課後子ども教室利用料を無償化



【これからの取り組み】

- ・子育て関係の取り組みを行っている企業・団体・個人にサポーターへの参加と、SNS等を活用したそれぞれのアクションの発信を呼びかける
- ・SNSを活用し、市やサポーターに参加する企業等の取り組みをこども家庭庁とともに周知（ハッシュタグ「#こどもまんなかやってみた」を付けて各々が発信）